

【教育委員会】令和8年度当初予算 予算見積総括表

令和8年度予算の基本方針

「きらっといきいき あったかい」高知家の教育の実現のため、学力向上・定着に向けた取組をはじめ、地域への理解と愛着を育むキャリア教育や不登校の児童生徒の多様な教育機会の確保、教職員の「働きやすさと働きがいの向上」に向けた取組を推進します。また、地域の核となる高等学校のさらなる魅力化・特色化を図り、県内外からの生徒の確保に取り組めます。

一般会計

令和8年度予算見積額	22,768,749 千円
令和7年度当初予算額	20,684,813 千円
差引増減額	2,083,936 千円
対前年度比率	110.1 %

高等学校等奨学金特別会計

令和8年度予算見積額	216,118 千円
令和7年度当初予算額	219,427 千円
差引増減額	▲ 3,309 千円
対前年度比率	98.5 %

(注) 上記には、人件費を含まない。

拡充 人口減少

創造枠

① 地域への理解と愛着を育むキャリア教育の推進
83,929千円(80,644千円)

若者の県内定着につなげるため、小中高校生が県内の企業等や大学を知る機会を充実するほか、進路選択に影響を持つ保護者や教員へのアプローチを強化

主な内容：

- 新 ア 地域で働き活躍している人材と、地域の子ども・保護者が対話する機会の創出
- 新 イ 中高生対象の大学体験ツアー、学長等による生徒・保護者・教員向け講演の実施など県内国公立大学との連携強化
- 拡 ウ 教員が県内の産業・企業・文化や課題を学ぶ機会の拡充
- 拡 エ 小中学生を対象としたバスツアー（東部・中部・西部）を通じて、県内企業等の現場を見学し体験する機会の創出
- 拡 オ 高校生が実際に乳幼児とふれあう体験学習等の実施
- 拡 カ 県内公・私立高校の生徒が集まる2泊3日の宿泊研修により、高校生が県内の魅力ある産業・文化に触れ、県政課題の解決策を協議する場の創出

拡充 人口減少

創造枠

② 高等学校のさらなる魅力化・特色化の推進
281,820千円(277,692千円)

高等学校の魅力化・特色化を一層推進し、県内外からの生徒数増につなげるとともに、多様な学びのニーズに対応するための新しい学科・コースの設置に向けた広報を実施

主な内容：

- ア 中山間地域等の高校の入学者増に向け、市町村が行う取組への支援
（高等学校活性化推進事業費補助金）
補助先：市町村 補助率：1／2以内
- イ 都市圏における県独自の合同学校説明会「こうち留学フェア」の実施
- 拡 ウ デジタルマーケティングを活用した全国生徒募集の広報活動の強化
- 新 エ 県外出身生徒が集う交流イベント「こうち留学サミット」の開催
- 新 オ 多文化共生コース（仮称）、まんが・アニメに関連した学びを行うコースなど、新しい学科やコースの設置に向けた広報の実施

拡充

③ 不登校児童生徒の多様な教育機会の確保
43,773千円(29,839千円)

個々の児童生徒に応じた学びの場を確保するため、校内サポートルームの設置を促進するほか、「学びの多様化学校」の相談支援体制を充実

- 拡 ■ 校内サポートルームの設置促進（不登校対策環境整備事業費補助金）
補助先：市町村 補助率：1／3以内 ※上限793千円まで
主な拡充内容：支援校の増（R7：17校→R8：35校）
- 新 ■ 学びの多様化学校（高知市・いの町）への支援
教員の加配（人件費別途計上）、心理・福祉専門職の配置

新規 デジタル

④ 高知県学力定着状況調査のオンライン化
32,410千円(32,410千円)

学力向上のPDCAサイクル強化のため、紙媒体で実施している高知県学力定着状況調査をCBT（Computer Based Testing）化

期待される効果：速やかに結果を分析し、児童生徒の個々の理解度に応じたフォローを行うなど、効果的な学習・指導を実現

新規 デジタル

⑤ 電子出願システム等構築委託料 122,964千円(122,964千円)

県立高校等の入学検査の出願がWEB上の手続きだけで完了できる電子出願システムを構築

期待される効果：受検生や保護者の利便性の向上、教員の事務負担軽減

新規 デジタル

⑥ 高校生の学習用端末購入支援 調整中

県立高校の生徒が使用するタブレット端末の購入等を支援

期待される効果：タブレット端末の活用による効果的な学習の実施